



楽しかった手作りのあそび

鮎河地域市民センター

このほど、鮎河地域市民センター（鮎河公民館）で青少年育成団体「あいの土」の子きらねっ人主催の「あそびの広場」が開催されました。子どもたちの夏休みの思い出づくりにと企画され、昔懐かしい紙芝居やカラムに輪投げ、締めくくりはおもちゃづくりと盛りだくさんの楽しい催し物となりました。特に、伸びたり縮んだりする不思議な物体「スライム」を作るのには一際楽しかったようで、会場は子どもたちの歓声と笑顔で満ちあふれていました。猛暑の夏でしたが、きっと楽しい思い出の「コマ」になったことでしょう。



防災かまどベンチを設置

柏木地域市民センター

防災への備えが声高に叫ばれる今日、柏木学区では、かしわざ自治振興会とNPO法人レインパークとの協働事業として、防災かまどベンチ（2基）の製作に取り組みられています。この事業は、滋賀県減災協働コミュニティ滋賀モデル推進事業の採択を受け、万が一の災害時に避難場所となる柏木小学校に隣接する柏木ふれあい運動公園内に設置するものです。8月には柏木学区の区長会をはじめ、多くの関係団体による事業の打ち合わせを行い、9月に基礎工事および本体設置工事を実施されました。また、10月に開催予定の柏木地区体育祭や年明けの3月に実施する防災訓練では、このかまどベンチを使用した訓練を計画されています。安心安全のまちづくりを推進するにあたり、地域の防災・減災の取り組みを、今後も継続して実施されます。



にぎやか焼きものづくり

信楽地域市民センター

8月5日レイカディアア大学主催（信楽学区自治振興会・長野分会協賛）で「夏休み子ども焼きもの体験」が開催されました。長野地区や市外からの小学生が39名参加し、午前中は信楽焼の歴史学習や寸劇の鑑賞をし、お昼には流しそうめんを食べながら交流を深めました。午後は子どもたちお待ちかねの陶芸体験。好きなアニメキャラクターを作るとあって、自作のイラストや写真を見ながら真剣な顔付きで粘土をこねていました。子どもたちにとって夏休みの楽しい思い出になったことでしょう。



夏の子ども体験講座・万華鏡づくり

甲南第三地域市民センター

8月22日、甲南公民館柑子公民分館において「夏の子ども体験講座・万華鏡づくり」が市内の小学生21名参加のもと、にぎやかに開催されました。この日は、県立甲南高校の森田先生のご指導により「ビー玉を使った万華鏡」と「液状のりを使った万華鏡」の2種類に挑戦。甲南高校の生徒さんお二人も先生の助手として、子どもたちに優しく丁寧にアドバイスをしてくださいました。針金やキリを使つての作業は、少し難しく大変な工程もありましたが、出来上がった万華鏡を覗いた子どもたちからは笑顔がこぼれ、楽しい夏休みの思い出となりました。

自治振興会の活動内容を紹介しています

みや 宮地区自治振興会

心が通じ合い元気で明るいまちづくり

まちづくりの基本目標（テーマ）

- ◆人と人、こころがよあいあい「地域の宝」を大切にしまちづくり
- ◆人と人、こころのふれ合い、健康で陽気に生き続けるまちづくり
- ◆人と人、こころがなごむ、地域が元気を育むまちづくり
- ◆人と人、こころがはずむ、地域資源を生かしたまちづくり
- ◆人と人、こころのきずな、笑顔あふれるまちづくり
- ◆人と人、こころをむすぶ、夢ふくらむまちづくり

宮地区自治振興会は、まちづくりの基本目標に沿って、5つの部会と事務局が力を合わせ事業展開しています。また、地域の人々にとって深刻な地域課題に迅速に対応できる組織づくりを心がけています。

私たちは宮地区の人々の笑顔を活力の源として、未来につながる事業や活動をしていきたいと考えています。

地域で育ててきた事業の継承

○子ども会研修旅行

こどもの日に、子どもたちの学習や社会経験のため研修旅行を毎年開催しています。子どもたちはこの日を楽しみにしています。自治振興会では、行き先でのトラブルを想定して事前に下見を行い、子どもたちが楽しい一日を過ごせるよう努めています。

○宮地区秋期運動会

甲南第三小学校との合同開催で、5集落対抗の運動会です。ケガしないようにとか言いながらも、ついつい力が入ります。グラウンドの中には、小学生も大人も笑顔がはじけます。

○忍にん寄席

地域の草の根ハウスでの落語会。上方落語三昧の楽しい時間、小さな会場に大きな笑い声が渦巻きます。

○わくわくフェア

地域市民センターを活用し、地域の人が集う12月、JAさんとの共同開催の事業です。しめ縄、野菜、手作りクッキーや焼きそば、忍者鍋、イカ焼きなど、地域の特産物や、夏祭りで鍛えた自慢の料理に舌鼓。ガラポンでは地域のお店にも協力してもらい豪華景品がずらりと並びます。



▲わくわくフェア会場の様子

新しく取り組む事業

◆命のバトン推進事業

甲賀市社会福祉協議会が進める命のバトン事業に賛同し、地域課題の高齢化や独居老人が安心して住める宮地区になるよう事業化しました。民生委員さんや、老人クラブ、日赤奉仕団の皆様と連携しながら命のバトンの普及に力を入れています。

◆小学校の環境整備ボランティア

小学校の児童数が減り、緑に包まれた甲南第三小学校は、保護者や職員だけでは学校全体の草刈などの環境整備が困難になってきました。草刈のボランティアを自治振興会の広報などで呼びかけたところ、30人弱の人々が駆けつけて下さり、あつという間に綺麗になりました。



▲呼び掛けに賛同いただいた地域の皆さんによる草刈り

◆獣害対策

5つの集落全てが獣害で悩んでいます。愛情もって育てた農作物が、サルに取られたと、なげく農家の皆さんの声が大きくなり、自治振興会では農林部会が立ち上がりました。講習会を開催し、サルの火花を活用した「サル追い払い隊」を各字に組織しました。より有効な活動ができるよう部会で話し合いを重ねています。

未来へつなぐ事業

◎「滋賀の宮村」復刻出版

明治の終わり頃、私たちの地域は模範村として国から表彰されました。この何の特色もない小さな村が全国から「滋賀の宮村」として脚光を浴びた、そんな誇らしい時代に思いを馳せ、先輩たちから聞かされた誇り高き時代の宮地域を伝える本「滋賀の宮村」を復刻する計画を進めています。

◎誕生御祝い事業

子どもは地域の宝です。少子高齢化の著しいこの地域ではよりその思いを強く感じます。赤ちゃんの誕生を地域全体で祝おうと、自治振興会発足時まで遡り、足形と誕生日などを刻んだガラス製の置物をプレゼントします。また小学校の入学卒業時にもささやかな御祝いの品をさし上げています。誕生、入学、卒業と、地域で育てた子どもたちが将来宮で生まれて良かったなあと思える「まちづくり」こそが、私たち宮地区自治振興会のめざすところです。

問い合わせ

甲南第三地域市民センター
☎ 086・85118 086・85119



▲サル対策の強力火花取り扱い研修会